

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	07	01	03	174340	観光情報発信事業費			
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興			
	施策	02	観光情報の発信					
目的	より多くの人に花巻の魅力を知らせてもらうため、観光情報の発信を行う							
対象	観光客、旅行会社							
意図	花巻の魅力を広く知らしめる							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○観光情報の発信 33,006千円 ○関係団体負担金 2,778千円 ○宿泊施設利用促進への支援 6,000千円 ○イーハトーブ大使によるPR 141千円 ○体験型観光推進事業補助金 479千円 ○観光パンフレット等の作製 9,639千円 ○映像作品のロケ誘致 1,355千円 ○電照広告の掲出 858千円 ○商談会や物産展等への参加 970千円 ○滞在型観光推進事業補助金 139千円 ○アフターDC特別企画推進事業<新規> 4,099千円 ○JR新花巻駅新幹線ホーム音源制作<新規> 1,430千円 							
市民参画の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	観光キャンペーン実施回数			回	計画	11.00	11.00	
					実績	4.00	13.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	花巻観光協会ホームページのアクセス件数			万件	目標	44.50	103.70	
					実績	99.50	134.30	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度	○		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
花巻観光協会への補助を通じ、ターゲットを明確にしたSNS広告の掲載やホームページでの情報発信の充実を図った結果、協会ホームページを閲覧した方が大幅に増え、目標を上回る結果となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	多くの人に花巻の魅力を知らしめ交流人口の増加を図るため、市として主体的に取り組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	花巻の観光コンテンツに興味関心を持ってもらうことで、花巻観光協会HPのアクセス件数は増加すると見込まれる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業内容を検討・見直しする際には関係者からの意見も踏まえながら事業費や人件費を精査しており、いずれも削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	観光振興による受益者は観光関連事業者はもちろん、宿泊・交通・物産・飲食・清掃事業者等多岐にわたる。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	
	今年度の振り返り	コロナ禍ではあったものの、アフターDCに合わせた観光キャンペーン等を、これまで実施できていなかった首都圏等で開催し、花巻の魅力をPRすることができた。また、首都圏在住のファミリー層などをターゲットとしたSNS広告やOTAを活用したプロモーションの実施等、ターゲットを精査したウェブによる情報発信を行った結果、花巻に興味を持っていただき、HP閲覧数の向上につなげることができた。
次年度に向けて	観光需要は回復してきていることから、市が実施している満足度アンケートの結果分析や協会HPのサイト来訪者のデータ分析等により、コロナで変化した観光客の意向・ニーズを把握しながら、誘客のための効果的な観光情報発信に努める。	

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	07	01	03	174400	外国人観光客誘致促進事業費			
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興			
	施策	02	観光情報の発信					
目的	訪日外国人観光客を誘致するため、海外に向けたプロモーションや滞在型コンテンツの強化を図るとともに、受入環境を整備する。							
対象	外国人観光客							
意図	交流人口の拡大による経済効果							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○商談会への参加 362千円 ○外国人観光客誘致促進事業への支援 4,000千円 (花巻観光協会が実施する外国人誘致事業への支援) ○関係団体負担金 404千円 ○外国人観光客受入環境整備 264千円 (音声翻訳機リース) 							
市民参画の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	国内外で開催される商談会への参加回数			回	計画	9.00	9.00	
					実績	2.00	2.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	訪日外国人観光客入込数(暦年)			万人	目標	8.00	3.50	
					実績	0.00	0.20	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)		
<p>入国制限の影響により、訪日外国人観光客入込数は目標値を大幅に下回った。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	国内人口減少に伴う国内観光客の減少は避けられないことから、市をあげて外国人観光客の誘致に取り組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	観光関連事業者と連携し、随時事業内容を見直し時宜を捉えた事業実施により、外国人観光客の増加が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業内容を検討・見直しする際には関係者からの意見も踏まえながら事業費や人件費を精査しており、いずれも削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	観光振興による受益者は観光関連事業者はもちろん、宿泊・交通・物産・飲食・清掃事業者等多岐にわたる。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	
	今年度の振り返り	訪日外国人観光客入込数は目標値を大きく下回ったが、水際対策の緩和となった令和4年10月以降、本市への入込数は確実に増加してきている。また、タイ バンコクで開催された「JAPAN EXPO THAIRAND」へ参加し、現地で花巻の観光PRを行うことができた。
次年度に向けて	令和4年10月以降、訪日外国人旅行者は増加してきており、日本への旅行需要は回復してきている。東北においても国際便の運航再開が進んできていることから、航空会社や旅行博覧会でのPR活動とあわせて、受け入れ体制の整備に取り組み、訪日外国人旅行者の誘致を図る。	